

7月ゼミ宿題

1. 7月ゼミの宿題内容

論文づくりを進める上で、テーマはどのようなものと理解するのがよいと思うか。下記2の「テーマに関する論点」も参考にし、自分の考えを述べよ。

2. 7月宿題の経緯と説明

まず、4月からの宿題に関する大まかな流れを振り返っておこう。4月定例ゼミ向けの宿題は、文章を書く練習に主眼を置き、3月ゼミの特定部分に焦点をあてたゼミ報告を書けという内容であった。(なお、3月ゼミ欠席者には、別途内容)。5月ゼミの宿題は、物事の調べ方、とりわけ先行研究の探し方についてであった。6月ゼミの宿題は、論文を書く上で構成をどう考えるかであった。こうした流れを受け、7月のゼミ宿題は「テーマ」にしたという経緯である。

テーマに関しては、上の7月宿題として提示した内容に関連し、次のような論点が考えられる。必要に応じて、これらの論点も回答の中に折り込むことが望ましい。

- (1) テーマに要件はあると思うか。
- (2) テーマには、いいテーマとよくないテーマがあると思うか。
- (3) これがあると思うなら、両者を分かつ要因は何か。
- (4) いいテーマの要件は、どのようなものであると考えるか。
- (5) テーマと調べることはどのような脈絡でつながると思うか。自分の考えを書け。
- (6) テーマと構成はどのような脈絡でつながるか。このことに関し、適切な事例をあげてみよ。
- (7) テーマと問題設定、論証のかかわりについて、自分の考えを書け。
- (9) 入学試験等のときに提出した自分の論文テーマがそのままテーマになりうると思うか。あるいはテーマにしてよいと思うか。自分の考えを書け。

また、宿題回答にかかる参考資料として下記の資料を添付する。回答にあたっては、これらの内容も活用してほしい。

「社会人の論文づくりの基礎論」(2012年7月)

「日本経済新聞」2012年6月17日付「私の履歴書」米沢富美子

その他、『論文づくりの方法論』(2012年版)については、これまでと同様であるが、とくに参考指示がなくても目を通すようにすること。

3. 7月ゼミ宿題の狙い

- (1) 論文づくりにおけるテーマの意味を体感的につかむ
- (2) 自分のテーマに関し、的確な構成や論証、展開が行えるようにする
- (3) 他者が書く論文等のテーマの適否を見極められるようにする

4. 回答にあたっての注意

今回の宿題は、宿題の経緯と説明のところで多くの論点をあげている。ただし、これらの論点にすべて機械的に答えても、伝わる内容の回答にはならない。むしろ、これらの論点は回答に折り込んだ方がよい。しかし、そこでは自分なりの問題設定と構成をしないとイケない。その上で、なるべくわかりやすく、かつ説得力があるように回答せよ、というのが題意である。

なお、以下は前回の注意事項と同じことである。一つ一つの論述には、必ず理由や根拠、裏づけをもって書くこと。また、読ませる内容とするには、自分の事例や他者の事例など、具体的な次元で書くことがよい。あるいは、論述にストーリー性や一貫性を盛り込むこともよい。

5. 対象者

今回の宿題の対象者は、M2、M1、学部生とする。修了生の参加も歓迎される。

6. 提出方法

宿題は、メールリストにより提出する。ワードファイルである。

ファイル名は「2012年7月ゼミ宿題（提出者の名前）」に統一する。

7. 提出期限

7月10日（火）